

補助事業番号 21-1-048

補助事業名 平成21年度 難病の基礎的研究機器の整備補助事業

補助事業者名 財団法人 宮城県公衆衛生協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

難病の早期発見・予防に資するため、研究用機器を整備して疾病の基礎的研究による病態解明等を図り、もって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

生化学自動分析装置の設置。

## 2. 予想される事業実施効果

我が国では、先天性代謝異常症等の6疾患（フェニルケトン尿症、ホモシチン尿症、メープルシロップ尿症、ガラクトース血症、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成症）を早期に発見するために、新生児期に採血して検査を行っている。疾患を早期に発見し治療することにより、心身障害を予防するため、大きな成果があがっている。これら6疾患以外にも、新生児期に発見し治療すれば、障害が重くならずすむ疾患が多く存在する。ただし、それらは数万人から数十万人に一人という大変稀な疾患であることに加えて、検査方法が確立されておらず、発症後しか治療ができないのが現状であった。

近年、医学や科学技術の進歩により、これらの疾患を一度に20種類以上検査できる方法（タンデムマススクリーニングという）がアメリカの一部の州で開発され、日本においても検討が開始されるなど世界的な広がりを見せている。

当協会では、宮城県、仙台市並びに東北大学医学部小児科の協力を得ながら、患児を見逃すことのない最適な検査条件および陽性基準値の設定、精度管理方法等に関する基礎的研究を行い、併せて一人でも多くの患児を早期に発見し障害を予防するため、タンデムマススクリーニングの有効性の評価と検査体制確立のために今回実施した機器を導入した。宮城県では、年間約2万人の新生児が出生しており、これらの新生児について継続的に検査を行うことの公益性とその効果は計り知れないものがあると考えている。

## 3. 本事業により作成した印刷物等

無し

## 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 宮城県公衆衛生協会

(ザイダンハウジン ミヤギケンコウシュウエイセイキョウカイ)

住所： 981-3111

仙台市泉区松森字堤下7番地の1

代 表 者 : 会 長 伊 東 潤 造 (イ ト ウ ジ ユ ン ゾ ウ)  
担 当 部 署 : 総 務 部 (ソ ウ ム ブ)  
担 当 者 名 : 主 幹 須 藤 和 美 (ス ド ウ カ ズ ミ)  
電 話 番 号 : 022-771-4722  
F A X : 022-776-8835  
E-mail : kousyu@eiseikyokai.or.jp  
U R L : <http://www.eiseikyokai.or.jp>